

令和元年度 白鷺教育会総会
令和元年 6月15日(土)

6月15日(土)、127名の参加のもと白鷺教育会の総会が行われました。



はじめに、高岡保宏会長のあいさつがあり、老後の暮らし、年配者の交通事故、子どもの虐待、体罰等の今の現状を、そして、最後に地域の支えの大切さについての話がありました。続いて、来賓のあいさつ(播磨西教育事務所長・姫路市教育長)、瑞宝双光章、視聴覚教育・情報教育功労者、地方教育功労者、兵庫県教育功労者の方々に慶祝状贈呈が行われました。



議事に入り、平成30年度の事業報告・決算報告・監査報告・役員紹介・令和元年度事業計画・予算案が出され、全て承認されました。

最後に各部からの連絡事項が説明されました。

- 1 120周年記念事業実行委員会 — 記念事業について説明
(記念講演・記念文化展・記念誌)
- 2 会報部 — 113号(7月)・114号(12月)の2回発行
- 3 文化部 — 120周年記念文化展の準備
- 4 研修部 — 現職研修会を6月23日(日)に実施
- 5 厚生部 — 8月5日追悼会(物故者へ線香送付)
10月24日(木)退職者交流会(たつの方面)
- 6 ネットワーク委員会 — 各部・各支部・個人などに原稿をお願いして、ホームページの充実に向ける

後半は姫路城を守る会 理事長 中川秀昭先生による「姫路城の歴史」という演題で講演をいただきました。

世界遺産 姫路城は3回(開城していなければ、廃城に決まったら、空襲を受けていたら)の大きな危機を乗り越えたからこそ、今の姫路城があるということを聞きました。

先生は、最後に姫路城は幾度もの存亡を乗り越えてきた「不戦不焼の城」。それを支え続けた「姫路市民の和が城への思い」、そして姫路城に携わった「匠たちの誇りと気概」と締めくくられました。



中川秀昭先生